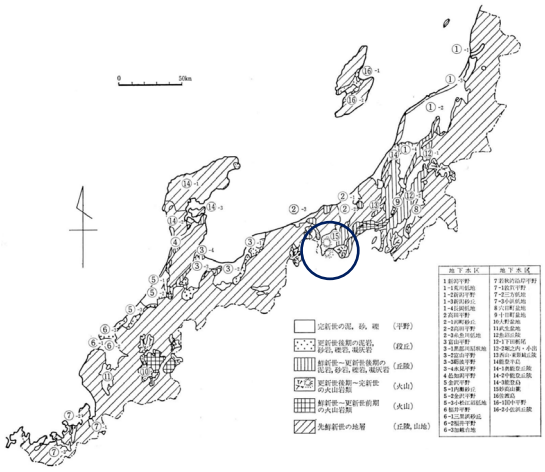
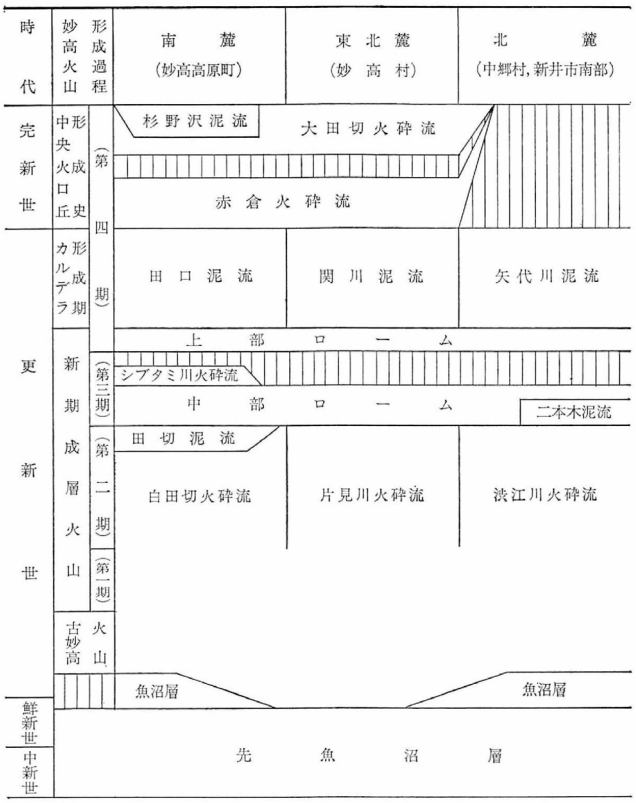
15.妙高山麓



地形・地質

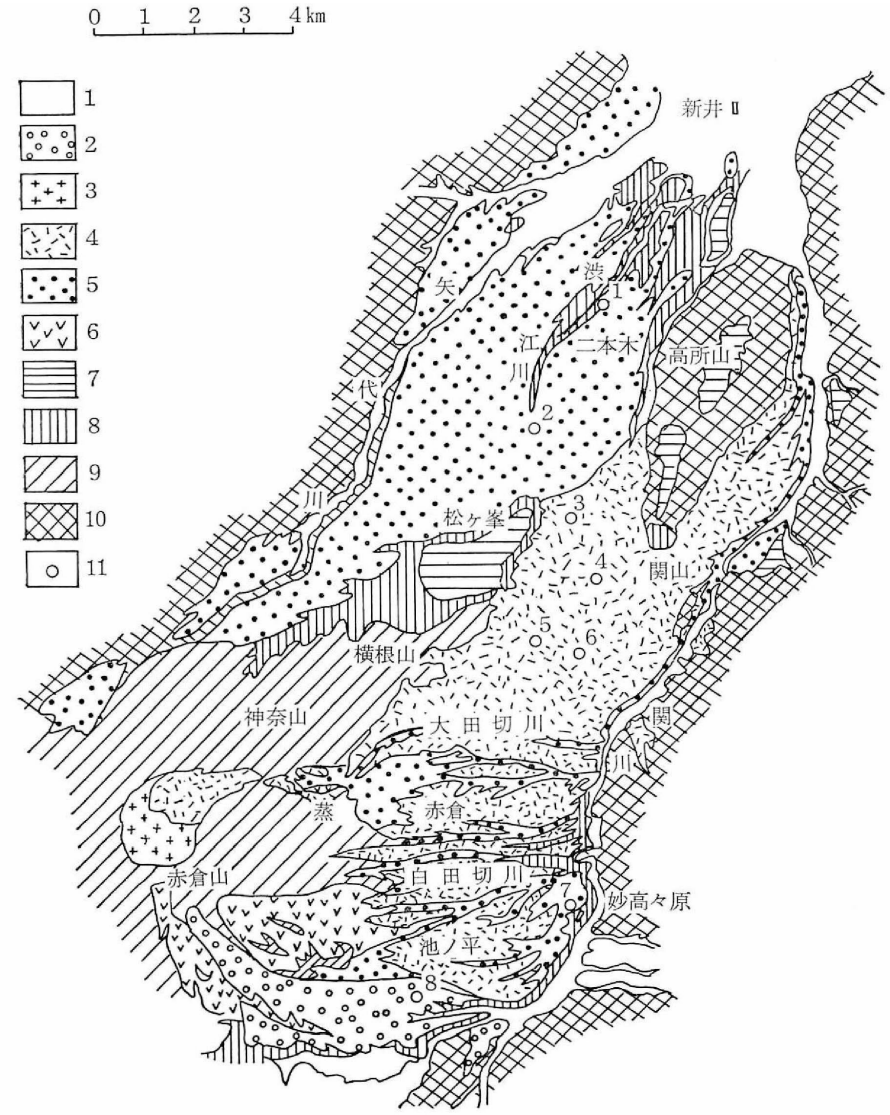
妙高火山は新潟県西部に位置し，標高 2449m の妙高山を中央火口丘とする二重式火山です。妙高火山の東側から北側にかけて延長 15km，幅 3～4km の裾野が広がっています。妙高火山は古妙高火山と新妙高火山に大別され，後者はさらに第Ⅰ期～第Ⅳ期の活動期に細分されています。

妙高火山の地質層序表



地下水

最も新しい火砕流である大田切川火砕流を帯水層とする井戸と，それより古い（主に第Ⅱ期以前の）火砕流を帯水層とする井戸が主です。



1：沖積層　2：杉野沢泥流　3：妙高山溶岩　4：大田切・赤倉火砕流（3、4は中央火口丘形成期堆積層）　5：矢代川、関川、田口泥流（二本木泥流を含む）　6：シブタミ川火砕流、西川谷溶岩　7：降下火山灰(ローム)　8：渋江川、片貝川、白田切火砕流　9：外輪山形成溶岩類　10：魚沼層および第三紀層　11：主な井戸、ボーリング地点

妙高火山東北麓の地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）